

バイオマス資源利活用施設整備・運営事業 「インフラメンテナンス大賞（優秀賞）」受賞決定

バイオマス資源利活用施設整備・運営事業が第3回「インフラメンテナンス大賞」の国土交通省案件において優秀賞を受賞することが決定しました。これは、社会資本のメンテナンス（インフラメンテナンス）に係る優れた取組みが表彰されるものです。今回のインフラメンテナンス大賞は、全255件の応募の中から32件が選定されました。

国土交通省案件では、中部、東海ブロックの自治体としては初受賞。また下水道分野として、自治体では東京都に次いで2例目の受賞となります。

○表彰式

日時：令和元年11月7日（木）14：00～16：00

会場：国土交通省 中央合同庁舎3号館10階共用会議室

○事業概要

未利用バイオマスのエネルギー利用を行うため、中島処理場（下水処理場）内にバイオマス利活用施設を整備し、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び一般廃棄物である生ごみ（家庭系・事業系）を集約処理することで、電力と炭化燃料として100%エネルギー化します。

また、38万市民の協力のもと生ごみの分別が行われ、市民と行政が一体となった市全体での取組みが評価されました。この事業により、市全体の財政負担の軽減や地球温暖化対策に寄与しています。

○インフラメンテナンス大賞とは

インフラメンテナンス大賞は、インフラメンテナンスへの取組みを促進し、活性化を図ることで、インフラ機能の維持を目指すものです。総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、防衛省の6省庁が所管する施設について、以下の各部門における優れた取組や技術開発を行った者に対して、各界の有識者による審査を経て、各大臣賞、特別賞、優秀賞が決定されます。

（ア）メンテナンス実施現場における工夫部門

（イ）メンテナンスを支える活動部門

（ウ）技術開発部門

今回は、（ア）メンテナンス実施現場における工夫部門での受賞です。

○参考（バイオマス利活用センターの受賞歴）

平成 29 年 9 月

国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）イノベーション部門

平成 30 年 6 月

全建賞（都市部門） （一社）全日本建設技術協会



豊橋市バイオマス利活用センター

問合せ先 上下水道局下水道施設課 課長補佐 正岡（電話-46-3414）